

東北大学経済学研究会

Bowles-GintisのPost Walrasian Economics

塩沢由典

経済学の中核で勝負せよ。(再・AC12.9)

- 新古典派理論の及ばないところで勝負するだけでよいか。
- 価格理論(国内価値論, Conventional Price theory)
 - 『基礎』<=塩沢:価格理論の欠如、西部忠の反論(九州部会)、桑垣豊:価格分布の統計的性質
 - R. Nelson (2012) *JoEE Online* Demand, Supply, ...
 - マークアップに基づく価格(Ricardo・Marxの現代版)
- 国際価格・賃金率格差
 - マルクス経済学・レギュレーション理論>国際経済を語るとき、その基礎となる理論は？
 - 古典派価値論(国内価値論+国際価値論)

J. Stiglitz の批判(JoEP 1993)

● 情報の経済学が明らかにしたこと

- ◆ 市場は、①パレート最適でない。②クリアしないかもしれない。③存在しないか、しても薄いかもしれない。④レントはあらゆるところにあり、高品質の製品が生産されるためや高い労働効率に必要。
 - ⑤多数の参加者がいても、市場はきわめて不完全競争的である。
 - ⑥所得分配は経済の効率性に重要である。

● B.Gのcontested exchangeよりはるかに豊かな一群の情報問題がある。

● B.Gは、homo economicusへのrevengeを十分遠くまで行っていない。

● 少数者相互作用(Game Theory)は、競争的市場は適用できない。

Bowles-Gintisの認めるところ(1993 PoEP)

● 新古典派パラダイムの核心

- 自己中心的な行為の一般モデル

● 修正理論

- 主人・代理人理論、情報の経済学、ラジカル政治経済学、メカニカル・デザイン、取引費用理論
- これらは政治経済学の豊かさを新しいモデル技術で再挑戦している。

● SmithのHomo economicus

- Arrow-Debreuには消えてしまった。
- Walrasは「人でなくものの関係の研究を追究」(S:一理ある!)

B-Gの人間主義？

● 自己中心的個人でなく...

- 目的追求的(「計算高い」)人間像でなく
- 古典派と新古典派の違いは、人間像の豊かさの問題か。

● Contested exchange理論

- 費用なしで履行強制enforceできない。
- 第三者の強制がないと内生的強制戦略をとる。

● O.Williamsonの批判

- そういう側面もあるが、2次的なものでは

政治的選好で理論選択していないか。

● 経済学

- 法則(定型的事実),理論,モデル,政策,経済像,思想の集合体
- 競合する大小のパラダイムの共存
- 理論と政策とは、一対一には対応しない。

● 経済学における理論の選択基準

- 経済学が科学であろうとするなら、政策やイデオロギーで理論選択してはならない。
- なにがわれわれの選択基準なのか。
- 結果の一致(M. Friedman)?

BowlesおよびB-Gの弱点

- ワルラス価値論を基本的に肯定

経済学を二分する競合パラダイム

- 価値論/価格理論

- B.